

Mrs. K. Koyama
29 - 60 - e
Hunt, Idaho

Sept. 1-1943



Dr. Keizaburo Koyama
Barrack 54

Santa Fe Detention Sta.

Santa Fe, N. Mexico

29-10-2

Wheat Seeds

Aug. 22, 1943
Sunday P.M.

say 1-11.

卷之三

年口は私のお休みサリナムアモロスアモロスアモロス
これもカサタデーの年口とサンデーの一日がお休みサリナムアモロス
サンデスクールヘルツに29大ニカ被れは愛入サリナムアモロス
候日仕事の申口山ガルナリありますか今口はが年代を
イバ口昨日ガルニエカラトのキンビングガルニ

新アーチリキナ七十人以上のかいせんが
おひいきの日を言ひておまえ ラギーは一周百九
居て来るかの如く運はたてて三晩ナゲビタリテ行
こ居りたまんとグズリ言ひのシナ そろひあら
ドナラレナリ 清子の事へ、私の車の考へ見合ひ
長の事アセを立ててサヌースクールへ行きかへ
ヘナ道筋には行けた、ビハ若ノカニハ
四日ビカヤニ置ヒ

暗喩近の廻場ハ 直蹄リテありテアリ
人出ビシテ 走ロアキリ 俗ニ通シテ 踏毛ノ如ニ
行ヌキル サタデーナイトは半ガ時角ビ カウント
カヘテスアリ一ノ所モリ 少リビテ ルネス 俗ニ通シテ 踏毛トトニ
ノチ見レ未アル
表ノ心の内にレ此一ノアリテ 無ニ

アリあります。反省する所が多かったですね。一、二回は
生きて、ハイアリありますから、日々の音楽は人に何を教わるか
は、一、思ひをさせますね。生きる時代、時代の音楽は
聞えながら、天へ飛んで行く人間が言ふからハイセヨ。
つまらぬ内希望が詠うる来ます。
今日ササキで、うかがいながら下駄を持て来る事、
また、生きる力を見つめ、体調、心、おもてり
らます。今までお父さんから、この車を下駄で一回飛ばす
ます。

私は豊の部へとサイナスのツラブルで三日はおらず式をひいて此のミドカは宝音がドライカブが胞の部へ

DETAINED ALIEN
ENEMY MAIL
EXAMINED

BY 25-3
U. S. I. & N. S.

にはもう一人、ゼラが併せて、コニツボイ、トライ、タリビ耳鼻
咽喉の弱い人はあまりよくありません。私は此づかへ来てまだ鼻の
中立の氣の強いためはあります。風を防ぐと必ず鼻血が
生じます。田中ダクターには止むべ事なく見えていたり、
あります。どうせ田中ダクターは止むべ事にてて下る、
ラカリーロ豚の走を4.壁玉にダテーが見てくれたと、指す
はすんがらもをも残念であります。アブリザル此のクレバは入る
氣の外郭のテストはへんこせ見えるけれども、かぎの
びすうら少来ます。
スミノキの3セ入は即ちおとく身に在ります。ミスター
は左腕の筋、アビス、先に清子と同年のボーケーを力
ねられ3セラムです。何をあめか骨の毒でせよ、他人の弓
と馬は、弓一馬、馬と一輪は、道のそれ等にはスミノキの
お赤旗は、手本アブリザル馬の力が弱り、合戦に在りてた
セスは、美人一人、生れいと力やと、一人びしむ
脇高音子の金歸り見ゆ件を有してはめらさん、ミーはジヤーフ
タミは、アライキ、アビス、百は、言葉を子供事は愛人ま
立派なアドカ言葉でせよ。
此のセシターヨアビア始めて、フキヨセの3セラムを見に行きました。
これがセガモのが流れです。アラクロバンドと言ひ御代、
セスああだ喜んで思ひて行つて見ゆ未習、おへんが宿代、
あるほど、美ひうらと言ひれらず、中田三郎の岩見立の木立
透のり立たず、ノーネ、音を立く音立ても、シミズエのチケット
をうなづいて、バウリーン行ゆそんが、ほろほろとすうの音を泪を
生じて笑ひきり、将來青年、ツールレーベ行ゆの、人達が喜んで
まじめよ、まあおのろヌッケイ、おアを考へ生じておせだ
二ゴミの申込みに力とがねうして思はれぬでせよ。
今日午後タクシントクと申され、午後三四時半行ふれんやがおが
に在るアカリーロ、アースタニアのエキス生産者、近づいて行くやうです。
同務所は英語説教をされる毎サントセラード、オーバークリー
子供事は、人々のクリスマスとお詫びうるを大喜びます。ナ
イハリート前のお供事がお達は、暖かくお人びと見うら。
今日はまたお子をがる、お母さんと行車が体を下す。